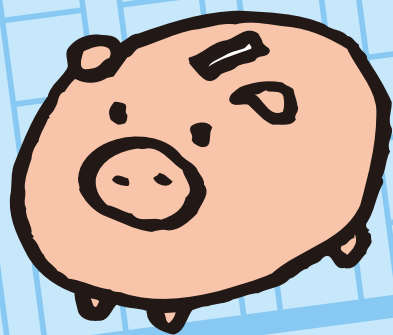
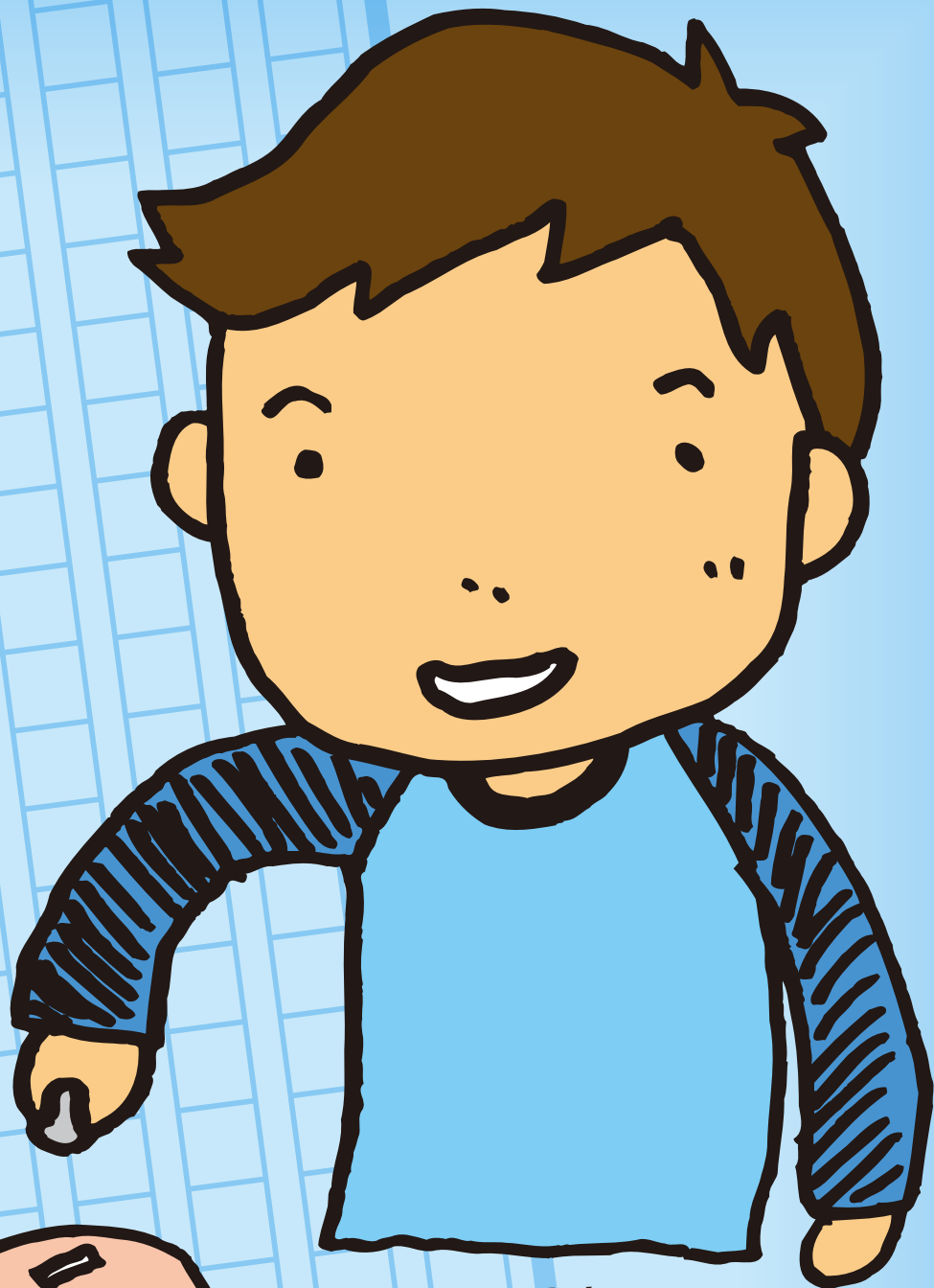


第42回

おかねの 作文コンクール



金融広報中央委員会は、
全国の中学生を対象に「おかねの作文」に
関して下記のテーマで作文を募集します。
みなさんの見たこと、聞いたこと、
感じたことをもとに「おかねの作文」に
チャレンジしよう！

特選 × 5 (賞状と図書カード4万円相当)

金融担当大臣賞 / 文部科学大臣賞 / 日本銀行総裁賞 / 日本PTA全国協議会会長賞 / 金融広報中央委員会会長賞

秀作 × 5 (賞状と図書カード2万円相当)

■ 佳作 × 50 (賞状と図書カード2千円相当) ■ 学校賞 (特選輩出校) × 5校 (賞状と学校備品購入費1万円相当)

締切

9/20

※消印有効

作文の
テーマ

- ① 私の活きたおかねの使い方
- ② いま、地域を元気にしている会社や商店について考える
- ③ 将来の夢の実現とおかねの関わり
- ④ 携帯電話やインターネットとの付き合い方
- ⑤ 悪質商法の被害にあわないためのわが家の対策
- ⑥ その他 (自由テーマ)

金融広報中央委員会とは？

「金融広報中央委員会」(事務局:日本銀行情報サービス局内)は、健全で合理的な家計運営のために、都道府県金融広報委員会、政府、日本銀行、地方公共団体、民間団体等と協力して、中立・公正な立場からの正確でわかりやすい「金融経済情報の提供」と一人ひとりが賢い消費者として自立するための「金融経済学習の支援」を積極的に展開しています。

コンクールの詳細についてはホームページをご覧ください。

金融広報中央委員会コンクール事務局 TEL. 03-6267-4314 (土・日・祝日を除く10時~17時) / www.shiruporuto.jp

主催:金融広報中央委員会 後援:金融庁/文部科学省/日本銀行/社団法人 日本PTA全国協議会/日本私立中学高等学校連合会

知るほると
金融広報中央委員会

R30
公益財団法人 日本私立中学高等学校連合会

第41回
(2008)

受賞作品発表



興味はあるけれど、いざ原稿用紙に向かおうとすると何を書いていいのか、どこから手をつけたらいいのかかわからない。そんなあなたのために、昨年度の受賞作品とその内容をご紹介します。ホームページで各作品の本文も読めるので、ぜひ参考にしてください。

2008
金融担当大臣賞

価値あるお金の使い方

名古屋市立守山西中学校 3年
山田 つかささん

作品内容 母の内職や可愛がっていた猫の病気を通して、お金は必要不可欠なものではあるが、お金で買えないものにも価値があることや、お金の有効な使い方についてよく考えられた作文です。

入賞者の声 生きる上でお金は無くしてはならないものです。でもお金は人を殺めることもあれば、命を救うこともあり、使う側の心ひとつで全く違うものになってしまいます。日々感謝しながら一生懸命生きていけば、決して間違った使い方をすることはないと信じています。

2008
文部科学大臣賞

悪徳商法の被害にあわないための我が家の対策

千代田町立千代田中学校 1年
植木 千恵さん

作品内容 悪徳商法の手口が巧妙化している中で、一人暮らしをしていた祖母が危うく被害にあいそうになったことから、セールスマンの来訪や電話勧誘に家族全員が注意を払い、丁寧な応対で対処する方法を紹介しています。

入賞者の声 作文を書こうと思ったきっかけは、祖母が悪徳業者にだまされた体験から、身近に起こりうるお金のトラブルについて、多くの人に伝えたいと思ったからです。この作文を書いたことによって、お金について深く考えることができました。

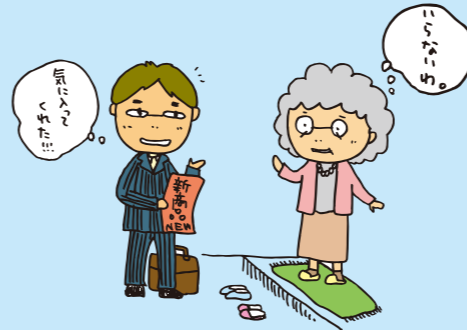
2008
日本銀行総裁賞

祖母の通知表

岡崎市立甲山中学校 2年
鈴木 崇造さん

作品内容 偶然見つけた祖母の古い通知表を通して、成績優秀であったがお金がないため進学できなかった祖母の思いをしっかりと感じ取ると同時に、祖母のお金の使い方は、そうした体験に裏打ちされていることに気付きました。そして自らもお金の大切さと使い方を真剣に考えている、文章・表現も秀逸な作品です。

入賞者の声 祖母からたくされた、「世の中には学校に行きたくても行くことができない人がたくさんいる」という事実を、僕だけでなく、もっともっとたくさんの人に伝えられたらと願います。



2008
日本PTA全国協議会
会長賞

携帯電話とインターネット

灘中学校 3年
平井 宏和さん

作品内容 初めて携帯電話を与えられた時の失敗体験から、お金や時間の重要性を再認識するとともに、携帯電話やインターネットの便利さの持つ功罪を考え、ある程度距離をおいて扱うことの大切さを説いています。

入賞者の声 この作文を書き、便利さとその代償として消費されるお金や時間の重要性を再認識しました。これからも、この事を意識しつつ、様々な経験をしていきたいと思っています。

2008
金融広報中央委員会
会長賞

見えない軌跡は

灘中学校 3年
馬場 悠輔さん

作品内容 中学入学以来の家族と離れた下宿生活で緩んでいたお金の使い方や生活態度を祖母の入院の知らせを機に改め、お金には手に入るまでの長い道のりがあり、気持ちがたくさん込められていることに気付いた経緯を語っています。

入賞者の声 作文を書き上げ、三ヶ月...大変身に余る栄誉を頂いたと確信しております。しかし大切なのは、賞を頂く以前に、テーマを熟考し言語化することでしたから、その機会を与えて下さったことに何より感謝したいです。

秀作

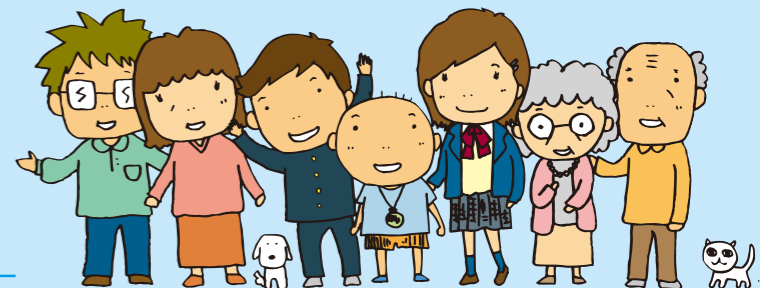
- 「お金の重み」 近江兄弟社中学校1年 一円 泰平さん
- 「インターネットについて学ぶ」 大分市立明野中学校1年 森山 心月さん
- 「携帯電話は必要か?」 京都市立岡崎中学校2年 木村 美咲さん
- 「僕にも出来る人助け」 京都市立嵯峨中学校3年 児嶋 寛治さん
- 「資産家の英断」 熊本市立出水中学校3年 野田 京さん

学校賞

- 愛知県 名古屋市立守山西中学校
- 群馬県 千代田町立千代田中学校
- 愛知県 岡崎市立甲山中学校
- 兵庫県 灘中学校

第41回審査員 (敬称略)

- 田沢 千人 金融庁総務企画局政策課金融知識普及係長
- 永井 克昇 文部科学省初等中等教育局視学官
- 赤田 英博 社団法人日本PTA全国協議会顧問
- 長谷川 秀一 全日本中学校国語教育研究協議会前会長
- 渋谷 康一郎 日本銀行情報サービス局参事役
- 園田 耕三 金融広報中央委員会事務局 金融教育プラザリーダー



第42回「おかねの作文」コンクール 募集要項

2009年テーマ

1. 私の活かしたおかねの使い方

おかねを使うと、持っているおかねは減ってしまいます。でも、おかねを使ったことによって得られる満足があるはずです。それは何でしょうか。買い物や預金、貯金、投資など、おかねのじょうずな使い方について考えてみましょう。

2. いま、地域を元気にしている会社や商店について考える

毎日の暮らしの中で、あなたが気になる「地域を元気に」している会社や商店などがありますか。また、あなたが応援してみたい取り組みや活動はありますか。「地域を元気に」している理由や応援してみたい訳を、その特徴や特色、現在の社会状況などから考えてみましょう。 ※個別の会社名は書かないでください。

3. 将来の夢の実現とおかねの関わり

あなたの将来の夢は何ですか。どのような仕事をして、どのような生活をしたいですか。またそのために、どのようなことを心がけ、準備していったらよいでしょうか。あなたの「将来設計」を、おかねとの関わり方を含めてまとめてみましょう。

4. 携帯電話やインターネットとの付き合い方

携帯電話やインターネットはすっかり日々の生活に定着して、もはや欠かすことのできないものになっています。しかし、便利なものにはマイナスの側面も。これらのメリット、デメリットを確かめて、じょうずな付き合い方を考えてみましょう。

5. 悪質商法の被害にあわないためのわが家の対策

悪質商法といわれるものには、どのようなものがあるでしょうか。また、被害にあわないためにはどんなことに注意したらよいでしょうか。皆さんの家庭ではどのような対策を立てていますか。家族でよく話して、まとめてみましょう。

6. その他(自由テーマ)

上記以外のテーマで、私たちのくらしとおかねについてふだん考えていることをまとめてみましょう。

[応募資格] 中学生

[賞] ●特選 5編(賞状と図書カード4万円相当) 金融担当大臣賞 / 文部科学大臣賞 / 日本銀行総裁賞 / 日本PTA全国協議会会長賞 / 金融広報中央委員会会長賞
●秀作 5編(賞状と図書カード2万円相当) ●佳作 50編(賞状と図書カード2千円相当) ●学校賞(特選輩出校) 5校(賞状と学校備品購入費1万円相当)

[応募のきまり] ●原稿用紙(400字詰)5枚。原稿用紙によらないパソコンの場合は、1行20字詰め×80～100行以内(空白を含む1,600～2,000字以内)。
●選択テーマ、作品タイトル、学校名(ふりがな)、氏名(ふりがな)、学年、性別、学校および自宅の住所・電話番号を下記応募用紙に記入し、添付のこと。学校単位で応募する場合は、学校宛てに送付しております「学校専用応募用紙」にてご応募ください(下記応募用紙は不要です)。
●本文冒頭1行目に選択テーマ、2行目に作品タイトル、3行目に学校名、学年、氏名を記入すること。
●下記個人情報の取扱いについて保護者の方にもご確認いただいた上でご応募ください。

※応募者の氏名は必ず本人が記入してください。 ※応募用紙はコピー可。ホームページからダウンロードすることもできます。 ※規定外の作品は審査対象から外します。

[注意] 作品は未発表で日本語に限ります。作品は理由を問わず返却いたしません。入賞作品の著作権・版権は主催者に帰属します。

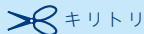
[締め切り] 平成21年9月20日(日)※消印有効 [発表] 12月上旬、金融広報中央委員会HP(www.shiruporuto.jp)などで発表。

[送付先] 〒100-0003 東京都千代田区一ツ橋1-1-1パレスサイドビル9F 金融広報中央委員会コンクール事務局
第42回「おかねの作文」コンクール係

[問い合わせ先] 金融広報中央委員会コンクール事務局 TEL. 03-6267-4314(土・日・祝日を除く10時～17時)

個人情報の取扱いについて

●応募者の個人情報は、入選作品の選考、入賞者への連絡のためにのみ使用し、主催者ならびに当コンクール業務受託先が責任をもって管理いたします。●応募者本人または保護者の許可なく第三者に個人情報を開示することはありません。ただし、法律や法的拘束力のある命令等に基づいて開示が要求された場合については、その要求に応じることがあります。●入賞者の氏名・学校名・学年及び作品の一部は金融広報中央委員会ホームページ等にて公表させていただきますので、予めご了承ください。



第42回「おかねの作文」コンクール 応募用紙

※応募者の個人情報は当コンクール以外の用途には使用いたしません。

※個人で応募される際にご使用ください。 ※募集要項をよく読んで、応募者の氏名は必ず本人が記入してください。

選択テーマ	作品タイトル	ふりがな 学校名	立 中学校
ふりがな お名前		学年 年	性別 男・女
学校住所 (〒 -) 都道府県 市区郡			
学校電話番号 () -			
自宅住所 (〒 -) 都道府県 市区郡			※マンション・アパート名等も必ずご記入下さい。
自宅電話番号 () -			

※お手数ですがアンケートにご協力をお願いします。

●このコンクールはどちらで知りましたか? 番号を○で囲んでください。(複数回答可)

1.ポスター 2.チラシ 3.新聞や雑誌 4.ホームページ 5.知人から 6.その他()

事務局記入欄